学校番号	１００７

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	書道Ⅱ						
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・『書Ⅰ』で培った書能力やより多くの古典を臨書し学習することで書の知識や能力をより一層伸長し、能力をいかした様々な形式の作品を制作する。
・幅広い分野の展覧会の鑑賞により、芸術を愛する心情を育成し自身の表現力を向上する。
・書をはじめとしたコンクールや展覧会に出品することにより、書に対する意欲を引き出す。

２　学習の到達目標

・書の緒活動を通して、創造的な表現の能力と鑑賞力の伸長をはかる。
・書の理論や歴史、伝統を理解し書を愛好する心情を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(第1ターム)	仮名を学ぶ	仮名の学習 ・淡墨によるひらがな連綿 色紙への表現を学ぶ	○			○	a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 d:墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
前期第2ターム)	漢字の書 (五書体の学習から少字数作品制作へ) 表具	・五書体の学習 ・正式書体と略式書体 ・漢字一・二文字作品制作 ・漢字一文字作品表具 ・相互鑑賞会	○	○		○	a:五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
後期(第3ターム)	少字数作品の創作から刻字作品の創作へ	・自分を褒めてよいところ自分のよい点を自身で発見させ言葉に表す ・自分の良いところを見つけ自分に賞状を書く ・半紙に練習 ・厚紙に清書 ・板に転写　刻す。 ・着色 ・仕上げ	○	○			a:前期で学習した五書体を参考にしその特徴を生かして自分の言葉で自分の良いところを細字で表現する。五書体の理解と表現。 b:自分を褒める言葉をきちんと整理しその言葉にあった表現ができている。 c:五書体をの特徴と小筆の使い方、連綿の利用などをきちんと理解し表現できているか？ d:刻字の技法と表現、文字に応じた構成と配置、表現に応じた着色など細部にわたり芸術的な表現が」できているか？	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

後期(第4ターム)	今まで学習した様々な書体や文字を調和させて漢字仮名まじり文の作品を制作する		○		○	○	a:これまでに学習した各書体を特徴を正しく理解しそれをうまく活用しかな文字と調和させ表現できているか。また自分が選んだ言葉を、用具用材をうまく組み合わせ意欲的に取り組めている。 b:漢字とかなの調和について考えた言葉とよくマッチし考えられて製作されている。 c:言葉や表現に応じた用具用材の使用を駆使し考えたような作品を制作している。 d:作品の実用性や利用法をよく考慮し活用した表現ができており意欲を持って取り組んだ作品に仕上がった。	観察 考察プリント レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。